

令和3年度 建設経済部 重点施策の実施結果

達成
状況

S… 目標を上回る結果となった
A… 目標通り達成した
B… 達成したが課題が残っている
C… 達成できなかった

総 括

・年々増加している荒廃農地を解消するために、農業者に対して荒廃農地の活用や補助金の活用を周知した結果、目標通りの解消が行われました。また、茶業については、生産性の効率化と省力化を図るため、茶園の集積を進めるとともに、「深蒸し菊川茶」をPRするため様々なツールを用いて情報発信を行いました。

・新たな工業用地については、候補地を決定するとともに進出する企業まで決定し、民間事業者による事業化が決定しました。

・幹線道路の整備については、今年度予定していた設計業務、工事が完了しました。引き続き事業効果を早期に発揮するため事業を推進していきます。

・住宅の耐震化については、建物所有者の高齢化や事業の制度変更によりハードルが高くなったことから、目標を達成できませんでした。災害から生命・財産を守るためにも、耐震化の必要性を周知し、事業を活用してもらえよう取り組んでいきます。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	荒廃農地の解消 (農林課)	農業生産の基盤となる農地を確保・保全するため、補助制度の活用や農業委員会との連携により、荒廃農地の解消に取り組めます。	令和4年3月末までに、荒廃農地を3.0ha以上解消します。 (令和2年度実績：3.9ha)	A	4名1団体の方に荒廃農地再生・集積促進事業費補助金の交付を行い、0.77haの荒廃農地が解消されました。 また、農地拡大の意向のある農業者に対し、荒廃農地の紹介を進めた結果、7、8月の利用状況調査では、1.45haを解消することができました。 さらに、農業委員会では再生利用が困難であると見込まれる農地の2.34haの非農地判断を行いました。 以上の結果、4.56haを解消することができ、目標を達成することができました。
2	農業用ため池耐震化の推進 (農林課)	農業用水の安定供給の確保と豪雨や地震時にため池の安全を図るため、国、県と連携し、ため池の調査・耐震工事を推進します。	令和4年3月末までに、県、国と連携し、ため池耐震工事を5池完了します。 (令和2年度実績：1池(溺川池))	A	今年度は、畦之谷池、和田口池、堤ヶ谷池、川上新池、内谷池、北之谷池の6池において、耐震工事を完了し、用水需要期前に必要貯水量を確保することができました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
3	茶園整備と集積による生産性の向上推進 (茶業振興課)	茶業の生産性の効率化と省力化を図るため、農地中間管理機構と連携し小区画や分散する茶園の集積を進めます。	令和4年3月末までに、農地中間管理事業により4.8ha以上の茶園集積を実施します。 (令和2年度実績：1.4ha)	A	今年度は、小笠東・牧之原・内田地区において、茶生産者3組織が、4.8haの茶園集積整備を実施しました。 今後においても、担い手や若手生産者などが安定した茶園経営を継続していくための事業として、茶園集積の推進を図ってまいります。
4	お茶の消費拡大推進 (茶業振興課)	消費者目線による推進を意識し、広報誌やチラシ、SNSなどを有効に活用した積極的な情報発信を行います。 また、近隣市町の取り組みを研究するとともに、茶業に関わる方との意見交換の場を積極的に設け、ニーズにあった施策事業をまとめます。	令和4年3月末までに、広報誌やチラシ、SNSなどによる深蒸し菊川茶のPRを積極的に行うとともに、茶業関係者と消費拡大推進についての意見交換会を年5回以上開催し、施策事業をまとめます。	A	「深蒸し菊川茶」PRのため、通信媒体を主とした情報発信においては、人気YouTuberによる情報発信や、有名女性雑誌掲載によるPRなどを行いました。その他、新型コロナウイルス感染予防についてのお茶の不活性化について広く周知を行いました。 また、茶業関係者との意見交換会(5/21・9/27)の実施、茶業審議会(11/16・1/31)の開催、茶業振興計画検討委員会(2/9・1/31)の開催など計5回以上の意見集約を行い施策事業をまとめました。
5	商工業の支援と推進 (商工観光課)	開発の可能性を調査した工業用候補地について、県、庁内関係各課、用地関係者等との調整を図り、事業化に向けた検討を行います。	令和4年3月末までに新たな工業用候補地を決定します。	S	平成30年度及び令和2年度の可能性調査の結果を基に庁内関係課や用地関係者等と調整し、加茂山田地区を候補地としました。その結果、進出企業も決定し、民間事業者による事業化が決定しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
6	地域資源を活かした観光の推進 (商工観光課)	令和2年度に新たに作製した観光パンフレットを活用し、市内外へ本市の魅力をPRします。	令和4年3月末までに市外県外のイベント等で6,000部配布し、PRします。	S	観光パンフレットの配布が好調で令和2年度に作製した15,000部では足りず、9月補正により10,000部を追加増刷しました。 最終的に、22,445部を配布し、情報発信に努めました。
7	良好な住環境の整備 (都市計画課)	自動車、自転車、歩行者などの道路利用者の安全確保及び、岳洋中学校、小笠支所等公共施設や(主)掛川浜岡線バイパスへのアクセスの円滑化を図るため、(都)青葉通り嶺田線の整備を推進します。	令和4年3月末までに、西側暫定整備予定区間約380mと市道西51号線交差点から区間約360mの道路詳細設計を実施し完了します。	A	都市計画道路青葉通り嶺田線及び市道井矯堂線の整備を推進することが出来ました。 西側暫定整備予定区間約380mと市道西51号線交差点から東区間約360mの道路詳細設計を完了しました。 令和4年度は、用地測量や都市計画決定の変更手続きを進めていきます。
8	幹線道路の整備 (建設課)	生活環境の向上や通学路の安全対策、公共施設への連絡として市内東西交通の幹線道路である大須賀金谷線の道路改良整備事業の早期完成を目指します。	令和4年3月末までに、大須賀金谷線整備計画の全区間における用地取得、物件補償を完了させ、令和3年度に予定する道路築造工事を完成させます。	A	大須賀金谷線の道路整備事業について推進を図りました。 用地補償については、予定していた168㎡の用地補償をもって、整備計画の全区間における用地取得を完了しました。 工事は、予定していた240mの道路整備を完成しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
9	住宅・建築物等の耐震化の促進 (都市計画課)	耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化及び危険なブロック塀の撤去・改善を推進するとともに、防災上重要な道路沿いにあり、倒壊による道路閉塞を防止する必要がある建築物の耐震化を進めます。	令和4年3月末までに補強工事10件を実施します。 (令和2年度実績：7件)	C	補強工事は、目標値10件に対して実績3件であり、目標値を下回りました。建物所有者の高齢化や令和3年度より補強計画と補強工事一体型への制度変更により活用のハードルが高くなったことが主な要因であります。令和4年度においても、住宅・建築物等の耐震化を促進するため、SNS発信やテレビのデータ放送などを活用することで目標達成に向け推進してまいります。
10	災害に強いまちの整備 (建設課)	昨年度に県が基礎調査を行った箇所について、市がハザードマップを修正し、土砂災害に係る危険箇所の周知及び啓発に取り組めます。	令和4年3月末までに、地形の改変があった2箇所について、ハザードマップを修正し、土地所有者に配布します。	A	民間の土地利用事業により、急傾斜地（法面）崩壊対策工事を行った加茂地内の加茂山田A地区、静岡県袋井土木事務所により、令和元年度（平成31年度）に急傾斜地崩壊対策事業が完了した下平川地内の東組A・B地区において、土砂災害警戒区域の見直しを受けて、ハザードマップ修正の委託業務を発注し、土地所有者に修正したハザードマップを配布しました。 土地所有者に改めて土砂災害の危険性と災害発生時の避難方法等を周知することが出来ました。